

気象庁の長期予報では、この台風の一ツが近畿地方をおろすおそれがあるようです。昨九月十六日の第二号台風(台風第十八号)は、阪神間に上陸したにもかかわらず、芦屋市は奇蹟的にも被害がなくて済みました。しかし秒速三十以上の風が吹き荒れ、潮位が高まり、低地の浸水や山地のけけくずれがおそれられ、ついぞ緊張しました。七月号予報でもお知らせしましたように、市内の被災のおそれがある地域については改善の手がうたれ、市長を総隊長とする災害救助隊の組織も拡充強化され、訓練をかかさねていますから、防災態勢は固まっています。しかし、災害の種類もその大ききもいろいろですから、ゆだんすることはできません。また



備えあれば憂いなし 防災は市民みずからも

救助隊の人員、装備などにも限度があり、災害発生時には、①警報の発令、伝達と避難の勧告または指示②消防、水防その他の応急措置③被災者の救護、救助、保護④清掃、防疫その他の保健衛生犯罪の予防、交通の規制その他の災害地における社会秩序の保持の施設および設備の応急の復旧の災害を受けた児童および生徒の応急の教育(災害対策基本法第五十条)など緊急な業務にかまわられています。被害のひどいところから重点的に手をうちますので手がまわりかねる場合もあります。それで、市民の皆様も各種の団体の方々も、一応は「みずからの手でみずからを守る」心がまえで、お宅や近所の災害予防や応急処置に努力がたいのです。

台風がやってきたら

被害を最小限に抑え、また他の事態を招きおそれ被害をより大きくするおそれのないようにするために、お互いに次のことに気をつけましょう。(台風時)
家屋などの補強 家や戸はあらかじめ釘づけにするか、板張り、かんぬきをなす。屋根瓦、看板、煙突など飛散物のおそれのあるものは補強工作をする。
火災予防 電気：単に発熱器具だけでなく、電気を用いるあらゆる器具について注意する。状況によっては電気のとも(開閉器)を切ることが望ましい。停電のときは、必ずスイッチを切っておく。
避難のしかた 大火や水没、けけくずれなどのとき、家を離れて避難しなければならぬ。住民が予知できない危険がせまるときには、必ず避難のしかたを覚えておく。

公聴連絡員 制度できる

従来、担当課の気つかぬ市の施設の不備は、連絡を広報委員さんや一般市民の方々の通報にまわすという、いわば受動的なやり方がありました。そこで市の職員も、自分の担当でない市の行政部門について、いつでも常時気を使って不完全な



新しく編成された市の災害救助隊は、防災の日である9月1日、台風〇月が阪神間を通過の想定のもとに総合訓練を行いました。6隊からなる救助隊は土のう積み(上写真)棄削散布、放水、負傷者救助(下写真)など、日赤兵庫支部の協力も得て大きな成果をあげました。

携帯品 食料(二三食分、永持ちするもの)、着替え、毛布、医薬品、懐中電灯、貴重品など。
避難所 大道路をえらび、橋は丈夫な橋の方を避ける。夜間はとくに間道を避けて、まきれや危険のない道をえらぶ。避難所までの道順などはあらかじめ研究しておくとよい。
緊急時 市民に義務 物資供出等

緊急時 市民に義務

市の災害対策本部(部長は市長)および災害救助隊総隊長は市長、人員と器材をこのえ、関係機関、団体と協力して万全の防災活動を行いますが、災害対策基本法は、次のように「住民等の協力」を定めています。



市民の声

【声】芦屋市は、みづから清潔な街として、環境の美しさを誇っています。市内各地の空地や道路上に土砂やごみが捨てられているのを見受けられます。これは大へん見苦しく、不潔です。市の方で何とかきれいにしたいだけなのに、どうしてか、とまたもの状態になっています。

あき地、道路のゴミ

【答】道路や空地の「ごみ」には、ごみ、灰、ガブ(不燃物)、工事の残材、溝をさぐらえた汚泥などがあつち、これを捨てる人は、付近の市民の方や市内外の各種業者の方が多いです。市の土木課と清掃課では、努めて取りかたづけたり清掃を行ない、あるいは立札を立てるなどしていますが、せつかくきれいにしても、しほらくたつて残材や植木の葉の捨て場に注



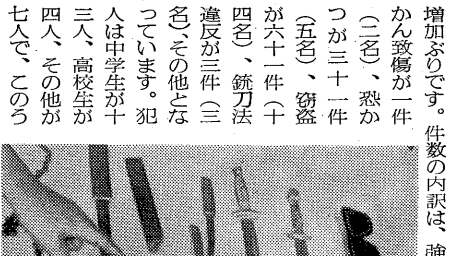
新しく編成された市の災害救助隊は、防災の日である9月1日、台風〇月が阪神間を通過の想定のもとに総合訓練を行いました。6隊からなる救助隊は土のう積み(上写真)棄削散布、放水、負傷者救助(下写真)など、日赤兵庫支部の協力も得て大きな成果をあげました。

指定避難所	電話番号
川宮条道	55(25037)
川宮条道	126(24010)
川宮条道	100(25180)
川宮条道	37(22066)
川宮条道	137(22550)
川宮条道	193(23370)
川宮条道	3(24110)
川宮条道	1(25978)
川宮条道	1(25236)
川宮条道	193(24110)
川宮条道	31(25689)
川宮条道	108(24170)

速に到達するように協力しなければならぬ。
応急公用負担(第六十四条)
 1、市町村長は、当該市町村の地域に発生する災害が、またはおそれがあるときは、当該市町村の区域内の緊急の必要があるとき、認めるときは、政令で定めるところにより、当該市町村の区域内の他人の土地、建物、その他の工作物を一時使用し、または土石

秋口にふえる少年非行

ことしの夏休み(7・21~8・20)の間に市内で発生した少年犯罪は、二十四人の少年が九十八件を犯しました。昨年の同期が十六人で十六件でしたから非常な増加です。件数の内訳は、強かん致傷が一件、(二名)、強かんが三十一件、(四名)、窃盗が六十一件、(四名)、銃刀法違反が三件、(三名)、その他は七名、中学生が十人、高校生が三人、高校生が七人、このうち十五人は芦屋市内の少年です。このほかに少年たちによる交通違反が百二十九件、く犯不良行為が六十二件数えられています。昨年の例によると、少年非行は夏休みの過ぎた新学期早々に激増しています。お互いが見守って少年たちが、悪の道に落ちないよう注意したいものです。



少年犯罪に使われた刃物類

ち十五人は芦屋市内の少年です。このほかに少年たちによる交通違反が百二十九件、く犯不良行為が六十二件数えられています。昨年の例によると、少年非行は夏休みの過ぎた新学期早々に激増しています。お互いが見守って少年たちが、悪の道に落ちないよう注意したいものです。

【答】道路や空地の「ごみ」には、ごみ、灰、ガブ(不燃物)、工事の残材、溝をさぐらえた汚泥などがあつち、これを捨てる人は、付近の市民の方や市内外の各種業者の方が多いです。市の土木課と清掃課では、努めて取りかたづけたり清掃を行ない、あるいは立札を立てるなどしていますが、せつかくきれいにしても、しほらくたつて残材や植木の葉の捨て場に注

先月市内	7月26日	8月25日
事故	60件	60件
死者	1人	1人
負傷者	34人	34人
死者	409人	409人
負傷者	172人	172人

【答】道路や空地の「ごみ」には、ごみ、灰、ガブ(不燃物)、工事の残材、溝をさぐらえた汚泥などがあつち、これを捨てる人は、付近の市民の方や市内外の各種業者の方が多いです。市の土木課と清掃課では、努めて取りかたづけたり清掃を行ない、あるいは立札を立てるなどしていますが、せつかくきれいにしても、しほらくたつて残材や植木の葉の捨て場に注

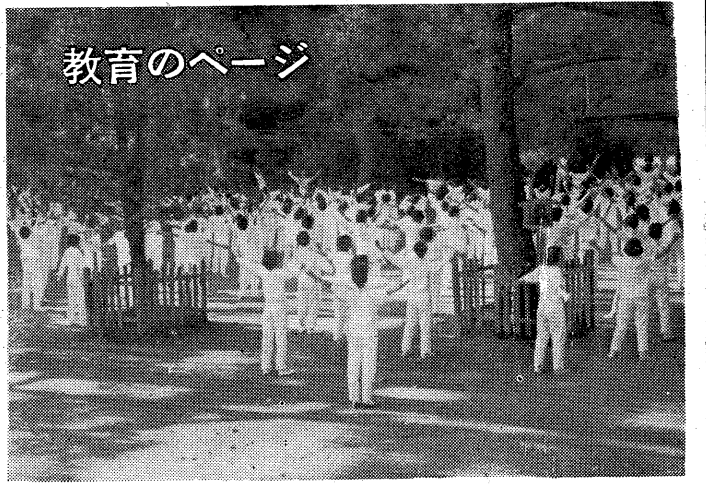
【答】道路や空地の「ごみ」には、ごみ、灰、ガブ(不燃物)、工事の残材、溝をさぐらえた汚泥などがあつち、これを捨てる人は、付近の市民の方や市内外の各種業者の方が多いです。市の土木課と清掃課では、努めて取りかたづけたり清掃を行ない、あるいは立札を立てるなどしていますが、せつかくきれいにしても、しほらくたつて残材や植木の葉の捨て場に注

【答】道路や空地の「ごみ」には、ごみ、灰、ガブ(不燃物)、工事の残材、溝をさぐらえた汚泥などがあつち、これを捨てる人は、付近の市民の方や市内外の各種業者の方が多いです。市の土木課と清掃課では、努めて取りかたづけたり清掃を行ない、あるいは立札を立てるなどしていますが、せつかくきれいにしても、しほらくたつて残材や植木の葉の捨て場に注

【答】道路や空地の「ごみ」には、ごみ、灰、ガブ(不燃物)、工事の残材、溝をさぐらえた汚泥などがあつち、これを捨てる人は、付近の市民の方や市内外の各種業者の方が多いです。市の土木課と清掃課では、努めて取りかたづけたり清掃を行ない、あるいは立札を立てるなどしていますが、せつかくきれいにしても、しほらくたつて残材や植木の葉の捨て場に注

【答】道路や空地の「ごみ」には、ごみ、灰、ガブ(不燃物)、工事の残材、溝をさぐらえた汚泥などがあつち、これを捨てる人は、付近の市民の方や市内外の各種業者の方が多いです。市の土木課と清掃課では、努めて取りかたづけたり清掃を行ない、あるいは立札を立てるなどしていますが、せつかくきれいにしても、しほらくたつて残材や植木の葉の捨て場に注

教育のページ



木の間をみれる朝日をうけて体操—高野山一

山の空気、胸一杯に

規律をこくに重んじる宿泊団体訓練を、全校で七月二十二日から約一週間の間に、学年ごとに次のとおり行ない、楽しい中に大きな収穫をあげました。

現在、一年生と三年生約二百五十人は、高野山へバスで登り、三日二日かけて、一年生は二十四日から二十五日にかけて、それぞれ赤松院と浄土院（じょうどいん）と浄土院（じょうどいん）というお寺に宿泊しました。

家族中で水しぶき

夏休み中、積極的に体力の増進をはかるために本校では、例年、二十五回のプール開放日を設けています。

生徒会の結成

四月開校以来、徹底した個別指導と、地についた学習活動で、各方面の注目を受ける市立芦屋高校の最近の状況を伝える二つのニュースをお伝えしましょう。

軟式テニス公式戦に初参加

出場したA組、B組とも、第二回は八鹿高チームと対戦し、4-0で快勝、第二回は、A組が赤穂高チームを4-2で破りました。

生徒会も誕生 市立芦屋高の近況

生徒会の結成、軟式テニス公式戦に初参加、生徒会も誕生 市立芦屋高の近況. 生徒の自治活動のお世話を、市の活動を開始し、市立芦屋高校に新しいしびの特色を加えることとなるでしょう。

待ちかねて登園 幼稚園

心の離乳が、なかなかできなくて、子どもも親も先生も苦しんで来た一学期、ようやく身についた自主性が夏休み中にこぼれてきた。

歌声は山にひびく

夏休み生活指導として行なわれた数々の行事の中でも、今年のはじめ最大のトピックは、なんといっても八月二日午後七時半から校庭で繰りひろげられたキャンプファイヤーの夕べです。

大東町子供会と日帰り交歓

「海で泳ぎたい」と川西市から三十五人、大東町子供会と日帰り交歓。川西市の子供たちは広い海浜で昔屋の子供たちとつらつら一時遊ばし、引き上げました。

家庭中で水しぶき

夏休み中、積極的に体力の増進をはかるために本校では、例年、二十五回のプール開放日を設けています。

生徒会の結成

家庭中で水しぶき、歌声は山にひびく、大東町子供会と日帰り交歓、生徒会の結成. 生徒の自治活動のお世話を、市の活動を開始し、市立芦屋高校に新しいしびの特色を加えることとなるでしょう。

兵庫県統計図表コンクール募集
統計思想の普及向上と統計の表現技術の研さんに資するもの
募集資格
第1部 小学生
第2部 中学生
第3部 高校生
第4部 一般

今月の新書
健吉 芥川龍之介の北尾巻道
本建築案内 関東のクロド・イーザリー ヒロシマワが罪と罰
石原豊昭 本人で出来る訴訟のやり方
方方 亀井勝一郎 歴史小説の旅
阿部進 新版現代子ども気質
田村秋子 一人の女僕歩いた道
大井鉄郎 特殊函数の圏論
近世日本の詩歌 梶井邦夫
ヨシー 研究の石井照久 判例労働法の角川書店
野中兼山
ハゲドール シュウアツア
1伝の寺内栄一 私達の天気予報
高瀬広居 パパの青児手帖
野安三郎 憲法改正

9月の市民ハイキング
さわやかな秋のシーズンが訪れました。あまり人の行かない奥の瀨から瑞穂渓を経て、園部へ下るコースを選びました。
と き 9月9日(日)、雨なら9月16日に
集合 阪急芦屋川午前7時集合、7時4分発車
コース 芦屋-龍勢川-山下一森上-土の畑-瑞穂渓-一瀬-南八田-園部-京都-芦屋(行程14km、一般向)